

離転職者等職業訓練 募集案内

県立和歌山産業技術専門学院では、下記のとおり訓練生を募集しています。

訓練希望の方は、ハローワーク窓口までお申し出ください。他の職業訓練との併願はできません。

記

◇ 訓練コース番号 5-07-30-133-05-0061

◇ 訓練科目「介護初級科1」

○ 訓練場所 社会福祉法人 安原福祉会 あいの里法人本部
和歌山市相坂655番地の1

TEL 073-479-2500

- 1 訓練期間 令和7年5月21日（水）～ 令和7年8月20日（水）（3か月間）
- 2 募集定員 15名（最低実施人数 4名）
- 3 対象者 介護職員として介護関連職種に就職を目指す方を対象に、公共職業安定所長から受講あっせんを受けることができる方。
- 4 訓練経費 【受講料】 無料。
【自己負担】 教科書代8,514円（税込）
同行援護従業者養成研修一般課程に若干の経費
職業訓練生総合保険料3,100円＋払込手数料
訓練期間中の事故に備えた損害賠償責任保険への加入が必要です。
- 5 募集期間 令和7年3月28日（金）～ 令和7年4月18日（金）各ハローワークで受け付けます。
- 6 選考
 - ・日時：令和7年4月28日（月）10：00開始
 - ・受付時間：9：30～9：50（試験開始後の受験は認めません。）
 - ・会場：和歌山県立和歌山産業技術専門学院（別紙選考会場略図参照）
和歌山市小倉90番地
 - ・選考方法：面接（対面式）
※選考試験には合格ラインがあり（面接：配点50点、合格ライン25点以上）、募集定員に満たない場合でも不合格になる場合があります。詳しくは学院ホームページをご覧ください。
※選考試験実施の案内状は送付いたしません。
※選考日当日は筆記用具（鉛筆、消しゴム、黒ボールペン）を持参してください。
※選考試験には他人に不快感を与えない軽装でお越しください。
※選考結果は文書で通知します。
- 7 訓練内容等 介護に携わる者が、基本的な介護業務を行うことができるよう最低限の知識・技術とそれを実践する際の考え方のプロセスを習得する。
ケア現場で役立つ高齢者介護（認知症介護）に関する基礎知識・技術とそれを実践する考え方を身につけ、チームアプローチに参画する一員として基本的なサービス提供ができるよう学習するとともに、高齢者介護に関わらず、障害者福祉に係る制度及びサービスを含めた福祉全般について学習する。
- 8 取得目標資格
 - ・介護員養成研修介護職員初任者研修課程
 - ・同行援護従業者養成研修一般課程
 - ・認知症サポーター研修
- 9 訓練時間等 原則 月曜日～金曜日（土・日・祝は休み） 9：00～16：40
1日あたり6時間 ただし、実習期間中は、実習先に応じた訓練時間となります。



10 訓練委託先 社会福祉法人 安原福祉会
和歌山市松原306番地の5

11 その他 選考会場と訓練実施場所が異なりますので、ご注意ください。

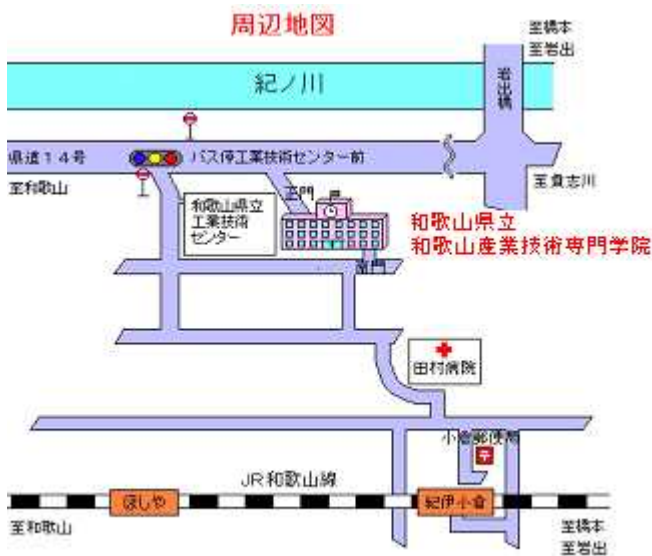
詳しくは、県立和歌山産業技術専門学院までお問い合わせください。

※一定の要件を満たす方は「求職者支援制度」により「職業訓練受講給付金」の支給等を受けることができます。詳しくは、ハローワークにお問い合わせください。

※令和7年度和歌山県予算が成立しなかった場合、又は厚生労働省との協議が整わなかった場合、本事業は実施しません。

和歌山県立和歌山産業技術専門学院 総務課 和歌山市小倉90番地 TEL 073-477-1253

○ 選考試験会場



和歌山県立和歌山産業技術専門学院

和歌山市小倉90番地

TEL : 073-477-1253

アクセス方法

鉄道利用 JR和歌山線紀伊小倉駅 徒歩10分

お車で来られる方は運動場へ駐車してください。

○ 訓練実施施設



社会福祉法人安原福祉会

和歌山市相坂655番地の1

TEL : 073-479-2500

アクセス方法

鉄道利用 和歌山電鉄貴志川線

岡崎駅前徒歩15分

お車で来られる方は看板裏の駐車場へ駐車してください

委託訓練カリキュラム

訓練科名	介護初級科1		就職先の職務	介護関連の職種
訓練期間	令和7年5月21日 ~ 令和7年8月20日			
訓練目標	介護に携わる者が、基本的な介護業務を行うことができるよう最低限の知識・技術とそれを実践する際の考え方のプロセスを習得する。			
取得目標資格	介護員養成研修介護職員初任者研修課程（訓練修了時に左記課程も修了） 同行援護従業者養成研修一般課程 ・認定修了証を取得できる教科①認知症サポーター研修			
受講対象者	介護職員として介護関連職種に就職を目指す求職者			
科目		科目の内容	時間	
訓練の内容	学科及び実技	介護職員初任者研修課程	職務の理解（6h）、介護における尊厳保持・自立支援（9h）、介護の基本（6h）、介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9h）、介護におけるコミュニケーション技術（6h）、老化の理解（6h）、認知症の理解（6h）、障害の理解（3h）、こころとからだのしくみと生活支援技術（75h）、振り返り（4h） ※こころとからだのしくみと生活支援技術については、一部実技演習を含む。	130
		認知症サポーター研修	認知症高齢者の基礎的な関わり方・接し方を学び地域に周知できる人の養成をする。	2
		あいサポーター研修	様々な障害の特性を理解し、障害がある人が困っているときに必要な配慮ができて、あいサポート運動を地域に周知している人を養成する。	2
		障害者の特性の理解	知的障害、発達障害、精神障害、高次脳機能障害、内部障害等の障害の特性を学習する。	10
		中間考査（理解度テスト）	授業で学んだことについての振り返りをすると共に、個々の理解度を確認する。	3
		人権擁護と身体拘束について	1. 高齢者の虐待防止 2. 身体拘束に対する取り組みの適正化	2
		安全衛生	安全衛生について	2
		介護現場におけるデジタル活用	DXを利用した介護記録・介護ロボットの説明、活用、体験	4
		アンガーマネジメント	怒りの感情をコントロールするための手法を学習する。	2
		アサーティブコミュニケーション	就職先において「お互いを尊重しながら意見を交わすコミュニケーション」の手法を学習する	1
		感染症対策	コロナ、インフルエンザ等の感染症対策として「手洗い」等基本的な防止策を学習する	1
		社会人基礎講習	自己理解、職業意識、現場見学など仕事理解、接遇マナー、苦情対応	24
		就職支援	就職活動の進め方（キャリアデザイン、履歴書・職務経歴書の書き方、面接対応等）、修了評価	20
小計			203	
訓練の内容	実技（演習）	介護技術の応用と振り返り	生活支援技術にて実技を学んでいるが、利用者個々にあった介護技術と振り返り	1
		実技テスト	快適な住環境整備・整容・移動、移乗・食事・入浴、清潔保持・排泄・睡眠	2
		パソコン基本操作と活用	パソコンの基礎的な取り扱い方 エクセル・ワード・パワーポイントの使い方	30
		同行援護従業者養成研修一般課程	1. 障害者福祉に係る制度及びサービスに関する講義 2. 視覚障害者の疾病、障害者等に関する講義 3. 基礎的な移動支援に関する講義 4. 障害者の心理に関する講義 5. 演習	28
		小計		
訓練の内容	実技（職場見学等）	就労支援事業所（6h×2日） グループホーム（6h×1日）		18
		職場見学等（介護老人福祉施設、居宅介護事業所、グループホーム、障害者支援施設などのうちから2か所以上かつ6時間以上）	デイサービス（6h×2日） グループホーム（6h×3日） 小規模多機能型居宅介護事業所（6h×2日）	42
		小計		
合計				324
就職支援の具体的内容	キャリアコンサルタントの実施、当法人からの就職情報提供、ハローワークと連絡を密にし最新の情報提供を受ける、県社協から講和による福祉・介護の就職状況等の情報提供、訓練終了者から訓練受講時の体験談、履歴書の書き方、訓練終了後の就職支援等			
使用する機械器具・教材等	車椅子…3台、ベッド…2台、ポータブルトイレ…1台 寝具、オムツ、寝間着、杖 マウスコンピューター製R4年式パソコン（Windows11、Microsoft Office2024）			
備考	・上記訓練時間とは別に開講・修了に係る行事を行います。			